

ビジネスに新聞活用

岐阜信金
新人研修

岐阜信用金庫(岐阜市神田町)は3日、取引先企業の新入社員を対象にしたビジネス研修会を同金庫本店で開いた。新聞の読み方研



内木いづみ記者(中央)のアドバイスを受けながら、新聞を読む新入社員。岐阜市神田町、岐阜信用金庫本店

修では、岐阜新聞編集局報道部NIE担当の内木いづみ記者が講師を務め、新聞活用についてアドバイスした。

研修会は、12日までに計4日間実施。ビジネスマナーや電話対応などの実習に加え、数年前から新聞の読み方研修を一コマに組み入れている。

研修会の参加者80人は、配布された3日付本紙朝刊の中から気になる記事とその理由をディスカッション。内木記者は「何を考え、何を伝えたいのかができないと仕事が進まない。目的を持って新聞を読んでほしい」と呼び掛けた。